



赤磐

平成25年12月議会

第35号

市議会だより



12月定例会のあらまし	2P
委員会のうごき	6P
14人の議員が一般質問	9P
12月臨時会のあらまし	16P
議会報告会を開催します！	17P

市議会の会議録がインターネットでも閲覧できます。ご利用ください。

アドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/akaiwa/akaiwa.html> (※赤磐市のホームページからもアクセスできます)



リビート吉井

12月定例会の あらまし

議案審議

12月定例会を、11月29日から12月19日まで、21日間の会期で開催した。承認案件1件を承認、議案27件を可決、請願1件を採択とした。また、議員発議の条例1件、意見書2件を可決し、意見書1件を否決した。

条例改正

事務分掌条例

問 新設される総合政策部の目的の説明を求める。
答 現在の政策立案、政策調整等の事務分掌と、総合計画などの政策立案業務を統合して、総合政策、政策立案が効率的にできるように組織替えるもの。

廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例

問 指定ゴミ袋の種類の説明と、剪定枝の新たな

出し方の説明を。今使っている袋はいつまで使用できるのか。テレビなどの処理費用の説明を。

答 10・20・30・45リットルの4種類の袋となる。剪定枝は、幹の太さが10センチ未満、枝の長さは80センチ以下で、1人で持てる大きさに束ねたものに指定シールを貼ってもらう。旧指定袋は、無くなるまで使ってもらう。テレビなどについては今までと同様となる。

指定管理

アグリ

問 指定管理の公募の方法は。米粉らーめんは地

元業者と競合しないか。トイレの管理はどうなっているのか。看板が赤坂になっているが赤磐市に変えないのか。

答 ホームページで公募した。米粉らーめんは朝日米の米粉を広報することを目的としたもので、市内の特産品の宣伝も兼ねている。トイレは、県へ修繕を求めている。看板は現地確認してから、設置者の商工会と相談する。

問 アグリ周辺の清掃は、出店者自身が自発的にするべきではないか。補助金を出す必要があるのか。
答 主体的に清掃するのは一般的だが、アグリの施設は、県が設置している簡易パーキングを含め

広い範囲をお願いしているので、清掃管理料を払っている。

吉井加工直売施設

問 指定管理の公募はおかしい。期間はなぜ3年間なのか。指定管理料はどうなっているのか。

答 この施設は株式会社ファームが運営するドイツの森の敷地内にあり、適正な運営が行われているため、公募はしていない。期間は施設の耐用年数が平成28年度末までなので、3年間としている。指定管理料は払っていない。

是里ワイナリー

問 民間へ委ねるべきではないか。販売や商品開発について努力すべきだが。

答 民間へ委ねる点は時間をかけて検討したい。販売等についても、様々な機関と相談して検討したい。

問 職員派遣については。法令遵守を基本姿勢に考えていく。

リビート吉井

問 契約途中の撤退が起きたらどうなるのか。また、経済効果は。

答 議決後に協定書の中で明確にして締結する。



夢百笑

地域の食材の利用増加と、雇用が計画書では、12人（交代制で延べ人数）となっている。

問 合併してからずっと閉鎖していたが今回指定管理にした理由は何か。

答 施設を有効に使うこと、地域の農産物を使用してもらい、地域に根ざした経営をしてもらうこと、また地元の人を雇用してもらうということ等が理由である。

補正予算

一般会計

問 債務負担行為132万円の内訳は。

答 アグリの敷地内にある浄化槽の維持管理委託料が76万円、トイレの光熱水費が15万円、修繕料が8万円、消耗品が2万円、敷地内の清掃費用が31万円である。

問 不動産売り払い収入536万8000円の積算根拠は何か。

答 小原の市営賃貸住宅

を現在の入居者に売却するものであり、売却金額については不動産鑑定士による鑑定評価を参考にしている。

問 保健衛生総務費の業務委託料1026万円について説明を。

答 医療と福祉との連携と赤磐市の医療体制についての調査、分析、検討を行うためのコンサルタント委託料324万円と、市民病院の耐震診断業務に係る委託料702万円である。

問 市立病院事業会計負担金2401万7000円の内容説明を。

答 市民病院事業会計の補正予算で医業収益および医業費用などを見直したため、支出に対して収入が不足となり、不足分を一般会計から負担金として支出するものである。

問 児童福祉施設費が1億893万3000円と多額だが内容説明を。

答 山陽、熊山地域の私立保育園10園分の運営費委託料である。

児童数は25年4月1日で982人であったが、12月1日現在で1124人となった。

特に、保育単価の高い0歳児が90人と増加している。地域別では山陽が99人、熊山が43人である。

問 県補助金「がんばる地域応援事業補助金」の内容説明を。

答 中山間地域や離島の地域で創意工夫を生かした活性化の取り組み等を積極的に支援し、地域の自立発展を促すことを目的としている。

仁美地区の買い物支援、高齢者等の生活支援のため、スピーカー付きの軽四の移動販売車の購入等を補助するための補助金で160万円を予定している。

問 住宅管理費70万円は具体的にどこを修繕するのか。

答 山陽地域にある緑が丘団地の床、浴室等の修繕と吉井地域の福田住宅の床の修繕である。

問 補正予算全体について、今回の補正予算は財

政健全化アクションプランを前提に配慮されたものになっているのか。

執行部がアクションプランの説明を議会にすることは議会基本条例にあるが承知しているか。

答 今回の補正予算はアクションプランを前提にしたものではない。

議会に対しての説明責任は承知している。今後、議会と協議し、どのように審議するか諮っていきたい。

市民病院事業会計

問 入院、外来患者が減少している理由は何か。

また、医業収益は減額しているがなぜか。

答 入院、外来患者の減少は施設の老朽化や入院機能がなくなることが理由と考える。

医業収益の減額は患者数の減少が大きく影響し、507万9000円の減額となっている。

一方医業費用の増額は、

来年1月から3月までの入院患者受け入れ日数が増えたため給与費が増額し、薬品費、診療材料費については、4月から9月までの執行額が当初予算を上回ったためである。

問 市民病院が閉鎖になるが、病院職員への対応はできているのか。希望調査などはどうなっているのか。

答 市民病院の医師、看護師ほか、全ての職員に対して意向を確認する作業を行っている。これらを取りまとめて今後の体制等を考えていく。

反対討論

議第76号 赤磐市行政財産使用料徴収条例の一部を改正する条例

一部を改正する条例

議第78号 赤磐市吉井浄化センターにおける合併浄化槽汚泥の処理に関する条例の一部を改正する条例

条例の一部を改正する条例

議第79号 赤磐市下水道条例の一部を改正する条例

条例

議第80号 赤磐市農業集落排水施設条例の一部を改正する条例

一部を改正する条例

議第81号 赤磐市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

を改正する条例

議第83号 赤磐市水道条例の一部を改正する条例

条例

議第99号 和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合規約の変更について

組合規約の変更について

平成26年4月から消費税が5%から8%になるのに伴って条例と規約を改正することだが、物価はすでに上がっており、8月から生活保護の支給を切り下げ、年金が10月から下げられ、今後医療費の引き上げなどが計画されている。来年4月からの増税中止で一致するすべての政党、団体、個人が共同で頑張つて、増税をさせないようにすることも可能だと考え、今8%を認めてしまおうというのには賛成できないため反対する。

議第77号 赤磐市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例

今回の条例の改正は剪定枝をゴミとして燃やすことを前提とした改正で、市のごみ処理基本計画との整合性のない改正には反対する。

議第89号 リピート吉井の指定管理者の指定

9月議会で修繕費を議決したが、未だ工事に入っていない。そして議案の提案に至るまでの適切な説明に欠けているため反対する。

議第90号 平成25年度赤磐市一般会計補正予算

算

赤磐市民病院の耐震診断にかかわる委託料は、今後の使用目的など説明が十分に議論されていない。そしてごみ処理施設建設工事に伴う地域還元施設の整備は、本来当初予算に含まれるべき費用であり、行財政改革をしている中で他の件に比べて特別扱いに感じるため反対する。

議第97号 平成25年度赤磐市立赤磐市民病院事業会計補正予算

事業会計補正予算

不採算地区の病院を営業して先延ばしにすれば赤字になるのはわかっていたことで、特別会計の補正には反対する。

賛成討論

議第86号 アグリの指定管理者の指定

赤磐市のアンテナショップとして、また赤磐商工会が大幅に活躍してもらうためにも賛成する。

議第89号 リピート吉井の指定管理者の指定

地域の農産物、加工品などを使用したレストランで地域の活性化につながるので賛成する。

請願

TPP交渉に関する請願

【採択】

発議

環太平洋パートナーシップ協定（TPP）交渉参加に関する意見書

【可決】

【要旨】 政府は、TPP協定交渉参加に関する決議を順守し、農畜産物について確実に除外、再協議の対象とし、国会の決議に即した国民が納得できる交渉方針を示し情報を開示し、政府方針の実現が困難と判断した場合、交渉から撤退する事を強く要望する。

【意見書提出先】 内閣総理大臣・内閣官房長官・内閣府特命担当大臣・外務大臣・財務大臣・農林水産大臣・経済産業大臣・厚生労働大臣・衆議院議長・参議院議長

市民生活を守るため燃油価格の安定を国に求める意見書

【否決】

【要旨】 現在の燃油価格の高騰は国民の生活を圧迫する状況で、平成26年4月より消費税が3%増税されさらに負担増となる。政府および衆参両議院は、国民生活を守る観点と燃油価格高騰による地域経済活動の鈍化抑制の観点にて、租税特別措置法に關し特別税率の解除を含むなど、燃油価格高騰抑止への取り組み対策を一日も早く行うことを求める。

北朝鮮によって拉致された被害者の救出を一刻も早く求める意見書

【可決】

【要旨】 今なお17人の認定拉致被害者が北朝鮮にいていわれている。平成23年12月に金正日総書記が死去し、金正恩政権が誕生し現政権が堅固に確立されていない今の時期、拉致問題解決に政府は全精力を傾けて早急に救出するように強く要望する。

【意見書提出先】 内閣総理大臣・拉致問題担当大臣・衆議院議長・参議院議長



赤磐市の地酒で乾杯を推進する条例

【可決】

【要旨】 赤磐市内で作られた地酒で乾杯する習慣を広め、消費拡大、生産意欲の向上、市の知名度の向上、産業の活性化に寄与し、市は普及促進に積極的に取り組むよう努めるものとする。市民は地酒による乾杯の推進に協力し、飲酒運転は絶対に行わないとする。

平成25年12月第5回赤磐市議会定例会審議結果

議案番号	案 件	議決結果	佐々木雄司	光成良充	澤 健	保田 守	丸山 明	治徳義明	原田素代	金谷文則	行本恭庸	松田 勲	北川勝義	山下浩史	福木京子	佐藤武文	岡崎達義	下山哲司	実盛祥五	小田百合子
議 第 7 6 号	赤磐市行政財産使用料徴収条例の一部を改正する条例（赤磐市条例第42号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		●	○	○	○	○	—
議 第 7 7 号	赤磐市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例（赤磐市条例第43号）	可決	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○		●	○	○	○	○	—
議 第 7 8 号	赤磐市吉井浄化センターにおける合併浄化槽汚泥の処理に関する条例の一部を改正する条例（赤磐市条例第44号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		●	○	○	○	○	—
議 第 7 9 号	赤磐市下水道条例の一部を改正する条例（赤磐市条例第45号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		●	○	○	○	○	—
議 第 8 0 号	赤磐市農業集落排水施設条例の一部を改正する条例（赤磐市条例第46号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		●	○	○	○	○	—
議 第 8 1 号	赤磐市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例（赤磐市条例第47号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		●	○	○	○	○	—
議 第 8 3 号	赤磐市水道条例の一部を改正する条例（赤磐市条例第49号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		●	○	○	○	○	—
議 第 8 9 号	リビート吉井の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	●	○	●	○	●	○	○	欠席	●	○	○	●	○	—
議 第 9 0 号	平成25年度赤磐市一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	●	●	○	●	○	●	○	○		●	○	●	●	○	—
議 第 9 7 号	平成25年度赤磐市立赤磐市民病院事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○		○	○	○	○	○	—
議 第 9 9 号	和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		●	○	○	○	○	—
請 願 第 5 号	T P P 交渉に関する請願書	可決	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	—
発議第13号	環太平洋パートナーシップ協定（T P P）交渉参加に関する意見書	可決	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	—
発議第14号	市民生活を守るため燃油価格の安定を国に求める意見書	否決	○	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	○	—
発議第15号	北朝鮮によって拉致された被害者の救出を一刻も早く求める意見書	可決	○	○	●	○	●	○	●	○	○	○	○		●	○	●	●	○	—
発議第16号	赤磐市の地酒で乾杯を推進する条例の制定について	可決	○	○	○	○	●	○	●	○	●	○	○		●	○	○	○	○	—

平成25年12月第6回赤磐市議会臨時会審議結果

議案番号	案 件	議決結果	佐々木雄司	光成良充	澤 健	保田 守	丸山 明	治徳義明	原田素代	金谷文則	行本恭庸	松田 勲	北川勝義	山下浩史	福木京子	佐藤武文	岡崎達義	下山哲司	実盛祥五	小田百合子
議第100号	控訴の提起について	否決	●	●	○	○	○	●	○	●	●	●	●	欠席	○	●	○	○	●	—

○ = 賛成 ● = 不賛成

※小田百合子議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。

※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

※12月臨時会の審議内容については、16ページに掲載しています。

総務文教 常任委員会

12月11日に総務文教常任委員会を行った。
議案4件について審査した。

条例改正

事務分掌条例

問 新設する総合政策部は、総合政策室と秘書企画課を一緒にするだけでは何の意味もない。総合政策室は今までどういっ

たことを何人できてきたのか。教育の問題や企業誘致の問題などの政策を

答 まずは総合政策部で煮詰めて、教育委員会や建設事業部に指示する体制か。

答 総合政策室は、秘書企画課と兼務の職員が2人のみ。総合計画関係の仕事を行ってきた。今後

総合計画の見直しの時期になる

ので、総合政策部で、政策立案、国・県との調整などの総合的な調整を実施する。

問 総合政策部設置で縦割り行政がひどくならないか。

答 総合政策部は、特定事業のない総合調整部門なので、これまで以上に各部

の連携が図れると考える。

問 同部の人員の構想は。

答 今の総合政策室と秘書企画課の人員を合わせたいと考えている。部長も1人置く。

問 しっかりした人材を集め、強固な総合政策部にして欲しい。

答 そういうスタッフを集め、機能を果たしていくことを目指す。

問 他部の調整を行うということは、総合政策部は、他の部よりも1つ上にあげた位置づけになるのか。

答 基本的に部間に序列はない。

税条例

問 1月1日以降に他市町村に転出した場合も特別徴収として年金から税金を引くことができるということか。

答 転出した場合、今までは普通徴収だったのが、年度中の課税分は継続して特別徴収できる。

一般会計 補正予算

問 仁美小学校を耐震補強することだが、前に仁美小学校は、統廃合する話がでていた。安全は大事だが、予算がついたからするといった安易な考えではないか。

答 小学校の統廃合の問題は、5年間の検討期間を設けて検討している。仁美小学校の耐震補強は重要なので実施する。将来、小学校が統廃合になっても、耐震補強した建物は使っていくことを考えている。

問 耐震補強工事は一般競争入札で行うのか。

答 まだ決まっていないが、一般競争入札の方向で実施したい。

問 中学校の校用備品の23万円はこの何か。

答 高陽中学校の特別支援学級が1クラス増える



高陽中の特別支援学級

20万円程度の電気料がかかる。基本料金が大きなウエイトを占めており、当初の見込み違いがあった。

問 津崎地区の防火水槽新設補助金について、なぜ年度内にできないのか。

答 同地区が地縁団体の認可を受けて土地を取得して事業を進めることになっている。

問 高陽中の支援学級はいつ、何人増えるのか。

答 増えるのは、来年4月である。3人増え、6人が9人になるので1クラス増設し、2クラスになる予定である。

問 給食センターの光熱水費を560万円増額補正するのは、なぜか。

答 今年度新設した東学校給食センターの今の契約は650キロワットが契約電力になり、約90万円が基本料金になる。稼動していない8月でも1

問 今回は予算から外し、計画は次年度に引き続き立てるとのことか。

答 来年度事業として取り組む。

厚生 常任委員会

12月12日に厚生常任委員会を行った。
議案9件について審査した。
うち、一般会計補正予算を否決した。

条例改正

国民健康保険税 条例

問 国税の扱いの何が変わり市の条例を改正するのか説明を。

答 地方税法の改正を受けて国民健康保険税の算出方法が変わるので税条例とともに改正するものである。

廃棄物の減量 及び適正処理 等に関する条例

問 剪定枝をペレットにする方法を見直して全て焼却するという選択は、ごみ処理の基本計画と整合性がないのではないのか。

答 今回総合的な観点からやむを得ないと考えて

いる。

国民健康保険 診療所条例

問 来年4月から6月までの3カ月間、市民病院を診療所として規定する条例か。

答 現在の市民病院を3カ月間診療所として使うための条例改正である。

一般会計 補正予算 保健衛生費

問 市民病院耐震診断業務委託料があるが、診療所に建替えるのになぜ耐震診断が必要か。

答 市民病院の施設が福祉施設として使えるかどうかを診断した後に検討したい。

市内の保育園



問 耐震診断の結果を基にして今後の計画を決めるのではなく、今後の福祉事業の内容を明確にした後に予算化すべきである。計画の

答 耐震診断の結果を基にして今後の計画を決めるのではなく、今後の福祉事業の内容を明確にした後に予算化すべきである。計画の



新ごみ処理施設の足湯

問 足湯の工事とは別だと理解すればよいのか。

答 今回工事の完成に向けて補正で計上した。

問 今年でなくともいいのではないのか。

答 地元の融和施設として協議の結果合意した必要最小限の施設である。

児童福祉費

答 今回、熊山地域の福祉政策を総合的に検討するため、耐震702万円と医療と福祉連携の検討業務委託料324万円を計上した。

清掃費

問 新ごみ処理施設建設工事に伴う周辺整備として、公園整備費がなぜ今頃になって補正予算で出てるのか。

答 予算措置に漏れがあり、最終段階で補正計上をした。

社会福祉費

問 障害者福祉費で更生医療給付費が増額しているが、見通しはどうか。

答 3月より生活保護受給者が人工透析を受けて

おり、増額となっている。今後の見通しはわからない。

国民健康保険 特別会計

問 特定健診の受診者が少ないということで国庫返還金が出ているが、今後の取り組みはどうするのか。

答 特定健診の受診率が18・7%と低く、今後受診者を多くするための方法を検討していきたい。

市民病院 事業会計 補正予算

問 当初では入院業務は12月末で停止にし、3月末には廃院の予定であった。この時期に補正計上はおかしい。仮に12月議会で可決されなかったらどうするのか。

答 入院業務を3カ月延長するため、509万円の増額補正をした。計算上は1日当たり5万6千円の増加になる。

産業建設 常任委員会

12月10日に産業建設常任委員会を行った。
議案16件、請願1件について審査した。

指定管理者の 指定

吉井加工 直売施設

問 事業計画は今までと同じ内容か。品目を広げるといったことがあってもいいのではないか。

答 製造品目については幾分か変化している。

昨年からも新たな取り組みとして、バウムクーヘンや市内の果物を使ったフルーツゼリー等のスイーツに新たに取り組んでいる。

問 事業計画は金額ベースでどうなっているのか。また雇用者数は。

答 指定管理者から出ている申請書によると、年間売り上げは9000万円の計画になっている。



吉井加工直売施設

雇用体制については、6人が製造販売に関わるようになっている。

是里ワイナリー

問 職員の出向について問題は無いのか。どのように考えているのか。

答 現在ワイナリーに行っている職員について

は、支所に出動して支所の業務を行いながらワイナリーへ醸造の指導に行っている。

リピーター吉井

問 9月議会で説明を受けたとき、10月から修繕工事に入ると聞いたが、どういった修繕をしているのか。

くらかかったのか。

答 現在設計士および指定管理候補者と打ち合わせしながら実施設計のまゝに入っている。

予算的には9月に議決された補正予算520万円以内

での設計を行っている。

問 年間の集客を2万人としていたが、根拠を教えて欲しい。また売り上げはどのくらいを見込んでいるのか。

答 事業計画では最初の段階が2万人程度で、幾分か増えていく計画になっている。

売り上げについては、26年度に2300万円程度、27年・28年にかけては2800万円程度となっている。

問 市としてどのようなPR・サポートをしているのか。

答 雇用の面でも地元との協力をもちたいという形で、円滑に進むよう進めたい。

市としては、指定管理者とはいえ一企業なのでPRは考えていない。

一般会計 補正予算

問 土木費のEV急速充電器設置予算について、いきいき交流センターに設置し、使用時間は9時

から17時までということだったが、市役所や、もつと長く職員がいる施設に設置する選択肢は無かったのか。

答 いきいき交流センターは、人口集中地区であり施設の利用者も多いため場所の選定をしている。

使用可能な時間については、現在はセンターに職員が常駐している9時から17時までという設定をしているが、センターとしては8時半から22時まで開いているので、今



吉井加工直売施設で販売される特産品等

水道事業会計 資本金の額の 減少

後利用形態や利用者の要望等を踏まえて検討する。

問 どうして今、額の減少ができるようになったのか。また、民間は気づいたときにいつでも修正できると思うが、役所はできたのか。

答 公企業会計においては平成24年3月31日までではなく、平成24年4月1日の法律改正により資

本金の額の減少ができるようになった。この件については26年度に向けた新会計移行手続きの中で発見できたものであり、ここで正しい数値に戻すという事である。

一般質問



市の考えを問う

14人の議員が登壇し市の考えをたどしました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。

問

赤磐市全体の医療体制を築くよう求める

答

専門家を交えた検討会を年明け早々に設ける



北川勝義議員

問 前回の実行性について①ごみ処理施設の進捗状況②備作高校跡地利用はどうか。

答 ①11月末で約90%に達している②民間の需要と動向も踏まえ、払い下げを実施している先進地事例を研究する。

問 市の医療体制について①市立熊山診療所に複合施設を併設した施設等の整備は②佐伯北国診療所の進捗状況についての説明を。

答 ①市民が安心して生活が営めるよう介護保険の専門家等をメンバーに加えた検討会で検討する②北部地域医療体制の検討会で検討する。

問 財政基盤強化の取り組みで財政健全化アクションプランの内容は。

答 財政健全化アクションプランは組織・機構、

事務事業の見直し、自主財源の確保、特別会計等への繰り出し金の削減を重点項目としている。

問 学力向上等をどのように進めるのか。

答 学力向上アクションプランに基づき、基礎・基本の徹底、ICT機器の積極的な活用等により、学力を伸ばす授業改善に取り組んでいる。

問 農業の担い手の確保・育成はどうするのか。

答 新規就農希望者の募集・体験研修等を実施し、JA岡山東・農業大・学校とも連携を図っていく。

問 市民・広報・デマンドバス等の運行状況は。

答 熊山地域の3路線を、高校生の通学に対応するバ



地域医療ミーティングの風景

問 斎場建設計画および有効利用は。

答 市の財政状況も考慮し、慎重に対応していきたい。

表紙のひとこと 新年の無病息災を願うとんど焼き

桜が丘東4丁目グラウンドで1月12日、桜が丘東連合町内会主催によるとんど焼きが行われ、地元の皆さんが持ち寄った正月飾りや書き初め等をたき上げて、1年間の無病息災を願っていました。

とんどは高さ約8メートル、四角すい形のものが3基設けられ、地元を代表して年男の小学6年生20人が火をつけると、赤い炎がまたたく間に勢いよく燃え上がりました。

参加者の皆さんは、立ち上る炎や煙で暖を取りながら、ステージで行われた地元保育園のソーラン節や、空手教室の演武に拍手と歓声を送っていました。

問 交流センターの飲食禁止を見直すべき

答 公民館に準じて見直し、来年度から実施したい



澤 健議員

答 センターの飲食禁止については、公民館に準じて見直して来年度から新たな運用を行いたい。

学校選択制の検証

問 桜が丘東2丁目においては、桜が丘小学校と山陽東小学校に通う小学生が約半々で、毎朝子どもが交差しながら学校に通う状態になっている。学校支援ボランティア制度の広がりもあり、家庭・地域・学校が一体になって子どもたちの成長を支えていくことが求められている。その中で東2丁目の状況は望ましくない。もちろん、学校選択制のいい面も沢山ある。については、7年目を迎えた学校選択制の検証を全市的に行って欲しい。

答 平成26年度から平成



現在の中央公民館の窓口

問 中央公民館は受付が窓口対応になっていて望ましくない。室内で職員と利用者が交流できるレイアウトにして欲しい。

答 現在の窓口をドアに変更し、事務室内にカウンターを設置して、職員と利用者のふれあいが増すように来年度予算で変えたい。

中央公民館のレイアウトとシステムの変更（6月議会質問の進捗状況）

27年度初めにかけて学校選択制の検証を全市的に行いたい。検証では、学校・PTA・町内会などの意見を聞きたい。

問 赤磐市の知名度をアップさせるには

答 赤磐ブランドや子育て環境の充実などアピール



金谷文則議員

いる。企業立地の優位性や素晴らしい特産品や赤磐ブランド、子育て環境の充実や住みやすさ等、広く対外的にアピールしていきたい。再来年には合併10周年を迎えるので、記念事業をアピールする機会とし、インパクトのある情報発信をしていきたい。

問 島根県大田市では「おおだブランド推進係」を設け、商工会に任せるだけでなく、市独自にブランド認証制度を設け、実施要項も明文化されている。積極的な取り組みが欲しいがどうか。

答 赤坂地域でどのような品質にこだわりたいか「誉乃AKASAKA」など誇れる資源は沢山あるので商工会と連携して積極的に推進したい。

問 合併から9年経つが、赤磐市の知名度アップにどのような努力がされ、その評価はどうか。

そして、これからは。

答 都市圏にむけた移住相談会へ参加し、広く赤磐市をPRするなど様々な取り組みをしたが、知名度のアップはまだまだだと思ふ。市長就任以来、市の行事等をできるだけマスコミ等に発表し、情報発信に心がけて

「お笑い赤坂亭や適塾の活用」について

問 お笑い赤坂亭はプロの落語を生で聞け、日本の文化を多くの市民に提供できる他に無い施設だが、行政の取り組みが希薄ではないか。赤坂適塾も都市と農村の交流を目的に設置した数少ない宿泊研修施設だが、活用が十分でない。どうするか。

答 プロの落語が堪能できる、市内外に誇れる貴重な人材資源として認識しており、雷門喜助師匠と協議しながら進める。赤坂適塾も、地域ならではの食・歴史・名所に魅力を求める人々等への利用促進を検討する。



お笑い赤坂亭年忘れスペシャルのようす

問 学校・家庭教育の 総合相談窓口の設置を

答 相談活動ができる 環境づくりを進める



松田 勲議員

が迅速に受けられるようにしていく。

いじめや暴力対策に

問 子どもたちの自主性を重んじた「学校仲裁所」のようなモデル校など定めていくべきだ。1人の先生が40人を見るといいうのは無理であり、目が届かない。少人数制にし、先生を加配してはどうか。

答 教育の改善については、主要施策として強力に取り組む。学習指導員の配置・35人学級の実現に向け、最大限の努力をしていく。

モデル校事業についても前向きに研究する。地域の取り組みに対し、腕章等を用意していく。

環境美化条例の 見直しを

問 新環境センターの完

成を機に、空き地所有者の管理責任を持つてもらうためにも、罰則規定を含めた新たな環境美化条例に改正すべきでは。

答 条例制定を含め、他都市の事例等も調査する。有効なものについては前向きに取り組んでいく。

地元企業のアピールに

問 広報紙一面を使って会社案内を掲載するなど、企業誘致対策とあわせて地元企業の活性化の促進、若者の定着に優良企業のアピールをしていくべきではないか。

答 広報紙への掲載について、実施に向け検討している。



教室で勉強する子どもたちの授業風景

問 被害防止対策に手厚い補助制度を

答 制度の見直しの必要を検討



実盛祥五議員

備してはどうか。

答 現時点では市単独で施設整備することについては費用面等、多くの課題があり、市内の民間業者との連携の可能性を探り、広域的な施設の整備については県に要望していきたい。

問 鳥獣被害対策実施隊を設置してはどうか。

答 有害鳥獣の捕獲を猟友会や駆除班の協力を得て行って個体数の削減に取り組んでいる。国が示している鳥獣被害対策実施隊を実施している市町村の状況を把握し、猟友会や有害駆除班と協議していく。

問 現在の猟友会の会員も高齢化し、年々少なくなっている。新規狩猟者の確保対策は。

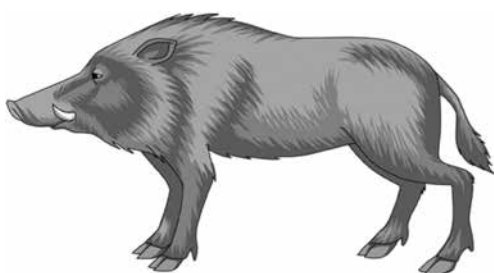
答 狩猟免許を多くの人に取得してもらうため、狩猟免許取得講習会の開催を広報紙やホームページでPRしていく。

問 イノシシなどの食肉利用を促進するため、肉処理加工施設を市内に整

問 農作物の被害は拡大している一方、狩猟者は減少傾向にある。このような状況の中、備前市では「シカ・イノシシ課」を新設した。赤磐市でも

課をつくり農業者また市民の人が被害にあわない対策を。

答 狩猟免許の所持人数は高齢化等により減少傾向にある。地域の取り組みの中で免許を取得すれば地域に合った対策ができると考えている。本市では農林課が対応しているが、市民への被害が懸念される場合には関係部署が協力して取り組んでいる。備前市では、シカ・イノシシ課を新設しているが、他市の状況も研究して検討する。



問 行財政改革方針を議会に諮るのか

答 3月定例議会前に議会に説明の機会を設けたい



佐々木雄司議員

会議を10月に開催し、①人件費の削減②事務事業における補助金・負担金の見直し③利用料や分担金、負担金の見直しによる自主財源の確保④特別会計への繰出金の削減などを柱とする方針を確認した。現在、各部署から重点項目と削減効果について取りまとめを行っている最中である。

問 取り組む行財政改革は一過性のものか、それとも恒久的な取り組みか。

答 地方分権と自立が叫ばれる中、無駄を省いていく事は原点である。平成28年度決算において經常収支比率90%以下を目指すし、赤磐市の行財政運営において継続的な効果が見込まれる行政改革を考えている。

問 来期当初予算に行政改革による削減効果が反

答 有識者・大学・国交省との協議を行っている。

問 山陽団地の活性化について、その後連合町内会との話し合いはどうか。民生委員の人々は数年前前から話し合いを重ね、提言もしている。住民や専門家も入った検討委員会を一刻も早く作り、共に考え知恵や情報を共有し、力を合わせていくことが大切ではないか。

問 山陽団地の活性化を早急に

答 今後なるべく早い時期に議論する場を設ける



福木京子議員

る。多様な課題があり、論点を整理していくのに、今大学教授等と協議中である。解決には相応なエネルギーが必要である。検討組織は必要なので、極力早めの立ち上げを行っていく。

高校生へ通学費等支援を

問 吉井地域の区長会から高校生への通学費補助の要望が出され、自治連合会でも話題になった。奈義町は年5万円ですらに1万円増額する予定、西栗倉村は月2万円の支援をしている。一貫した子育て支援策が必要であるかどうか。

答 通学者の負担軽減の要望が強い事は十分承知している。どのような方策を講じるかしっかり考えていく。

問 国の農政改革に対し、生産者等の意見を上げよ

問 安倍内閣は、米の生産調整の廃止に踏み出している。米価が暴落し、地域産業が崩壊してしまふという不安とともに、生産者の声も聞かずに生産調整の即刻廃止を求める財界等の身勝手な行動に怒りの声が上がっている。農家や国民の願いを生かすよう国に意見を上げよ。

答 不安の声が上がっている事は承知している。11月27日の関係者会議で意見交換も行った。国・県との連携を強め農業振興に取り組む。



農作業風景

問 来年度から廃品回収の 報奨金を全廃するのか

答 審議会の結論を得て、
廃止する方向である



丸山 明議員

答 廃品回収の報奨金は先に開催された廃棄物減量等の審議会で廃止する結論が出ている。厳しい財政運営において補助金等の見直しを行っていき、制度の目的は役割を終えたものと判断している。

問 障害者施設である太陽の家にとって廃品回収は単なる作業ではない。施設の障害者の地域社会への参加活動として、また、働く実感を伴った活動である。昨年度1年間で135回もの回収活動を行っており、報奨金は彼らにとって欠かせない就労支援金となっている。

問 報奨金を来年度より廃止すると聞いたが、この制度は資源の再利用とごみの減量に役立ってきた。報奨金を支給すること、特に学校の子供達には直接回収に関わることも多く、ごみ問題に対する社会教育にもなってきた。現在は地域のコミュニティ活動として定着している。今後制度をどうするか。

答 太陽の家については、来年度就労支援B型事業所および生活介護施設として移行する。



廃品回収

さらに障害者に対する支援については実態を見ながら推進していきたい。今後は環境センターにも障害者が働ける作業環境の場を検討する。

環境センターに市民協働のリサイクル施設を望むが

問 市民と一緒に考え、資源を再利用する市民参加型のリサイクル施設を望むが市の取り組みは。

答 リサイクル施設内に再生工房を併設する。衣類、家具、自転車等の修理のほか、紙すき講座等の市民が集える魅力的な施設を目指していく。また、市民の意見も広く聞きながら検討する。

問 新庁舎の建て替えを検討すべきでは

答 検討を進めていく



保田 守議員

ための仮庁舎の建設、引っ越し等多額の費用がかかる。耐震工事の費用はどのくらいかかるのか。また、新庁舎を建設すればどのくらいかかるのかを我々議員の前に示してほしい。赤磐市の将来にとってどちらがいいのか検討すべきではないか。

答 本庁舎・支所の耐震工事は必要であると認識している。市民の安全・安心を支える拠点として重要であると考えている。今後の支所の統廃合を含めた支所機能の見直しと並行して検討していく。

問 現在の庁舎は昭和50年の建築で、耐震基準ができる前の建物である。大がかりな耐震工事が必要である。今のフロアに厚い耐震壁が必要となり、機能的にも大きな障害になる。また、3力所の支所も耐震工事が必要となる。耐震工事をする

問 現在、赤磐市には3つの支所がある。将来のことを考えると財政的にも人員的にも維持していけるとは思えない。支所機能の見直しをするべきだ。



赤磐市役所

答 現在の組織と人員を引き続き維持していくことは非常に困難である。市民に身近な窓口機能を維持しながら、段階的に組織の見直しを進めていく。

問 警察署を誘致するには、主要幹線道があり、行政機関（市役所）がある事が絶対条件であると聞いた。新庁舎建設と合わせて検討すべきではないか。

答 合併以来先人の尽力で要望・要請を重ねている。市内に警察署がないという事実を改善してもらえよう引き続き要望していく。

問

熊山駅前周辺整備計画についての考え方は

答

財政が厳しいため事業化のめどは立たない



行本恭庸議員

問 平成21年3月に駅前周辺整備計画ができた。地元の問題や金銭的な問題で断念。しかし水害を優先した雨水計画が現在進行中で、十分な対応ではないが評価できる。

答 駅前の市所有の古い建物に簡易郵便局があるが、周辺に商店もなく、あるのは空き家ばかりの駅前だ。新しい建物を建て、簡易郵便局と公衆便

問 駆除は旧町単位で行っており、駆除範囲は限定されている。駆除班に入れる条件もまちまちである。この2点を改善しないと、今以上の効果は上がらない。どのような対応をするのか。

答 見直し時期と認識している。今後駆除班や猟友会と協議を行う。



熊山駅前の風景

問 「有害鳥獣駆除」について

答 財源の確保・事業化のめどがある程度立った時、駅周辺の状況を再度調査して、必要があれば見直しを行う。

年々減っている。所持者が減れば減るほど駆除頭数に影響するのは確かなことである。

問 所持希望者に対して市はどのような対応ができるのか尋ねる。

答 他市町では維持管理費の助成制度を導入しているところがある。その効果を調査し、検討していく。

問 市は補助金を猟期・非猟期で区別している。年間一律の補助金を望む。そうならば駆除意欲が一層増すと思う。市の考えを尋ねる。

答 周辺市町村の状況を調べ、見直しの必要性について検討し考える。

問

地域の活性化等のために「乾杯条例」の制定は

答

大賛成である



治徳義明議員

問 地域活性化やまちづくりのために地域ブランド化の取り組みは重要な課題であると考えているが。

答 赤磐商工会、市内事業者等と連携して企画、検討していく。

問 赤磐の桃の支援は。

答 様々な媒体や機会を活用して情報発信を行って、ブランドの確立をしていく。

問 赤磐には、日本酒、ワイン等の7つの酒造会社がある。これは、全国

に誇れることである。しかし、お酒の業界は、厳しい状況が続いている。地域経済の活性化のため、そして、地域ブランド化の第一歩として「地元のお酒で乾杯する条例」を制定すべきではないか。

答 大賛成である。

問 医療費の増加等は、深刻な問題であり、医療費適正化の取り組みが必要である。①レセプト等を活用したデータヘルスの推進は。②「ジェネリック医薬品促進通知サービス」は、医療費削減効果がある。導入すべきでは。

答 ③積極的な予防事業の取り組みが重要と考えるが。

問 ①レセプトや特定健診情報を活用したさらに効果的な保険事業を実施する。②来年度、実施に向けて取り組んでいく。③予防事業の充実を推進

する。

問 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定した。参加国等の事前合宿の誘致を県や岡山県ホッケー協会等と連携して積極的に行うべきでは。

答 子どもたちの夢を持たすためにも、積極的に誘致活動をする。

問 市民のライフスタイルや働き方が多様化する中、利便性と収納率向上のために、市税等をコンビニで納税できる「コンビニ納税」を導入すべきでは。

答 費用対効果等、引き続き検討する。

※ジェネリック医薬品促進通知サービス
国民健康保険に加入しており、ジェネリック医薬品に切り替えられた場合に負担が軽減されると見込まれる人で、かつ慢性疾患を有する被保険者を対象に、現在使用している先発医薬品をジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額を知らせるサービス。

問

山陽新聞の吉井支所ルポの記事をどう感じたか

答

合併の効果を最大限生かせるように努める



下山哲司議員

う。

合併後の状況を見ると合併前では困難であった大規模な社会資本整備も進んでいるなど一定の合併効果も出てきている。

今後は、事務事業の見直しなど、合併の効果を最大限生かすと同時に窓口業務などの市民に直結するサービスは極力低下しないように市政を進めたいと考えている。

医療体制の充実について

問 吉井地域、赤坂地域、熊山地域の医療面での変化をどのように認識しているか。

答 吉井については、日に日に悪化しているような状況だと思うがどのように考えるか。



吉井支所

熊山地域は診療所に移行し、多機能施設も併設と言っていたが、今後熊山地区の人たちが納得するような方向性を持って行っていくと思うか。

答 医療体制の充実については、専門家を交えた検討会を設置する。専門家というのは、地区の代表の人も含め、医療や介護の分野の専門家をメンバーに考えている。

熊山地域の診療所についても、併設する複合施設が地域の人たちの期待に最大限応えられるように考えていく。

問

子育て支援のため予算を付ける覚悟はあるか

答

県に要望している



原田素代議員

いが、市長の最重要政策だから当然市の予算で講師を採用して35人以下のクラス編成で、落ち着いた授業環境を整備することが必要と思われるが、どうか。

答 喫緊の課題で、要望は理解している。しかし厳しい行財政改革中なので、県に負担を求めるのがベストの案である。

ゴミ処理基本計画に反する剪定枝の焼却条例

問 市の「廃棄物処理基本計画」では①ごみの発生抑制②循環型社会の構築のため適正処理・処分③市民協働④計画のフォローアップである。今回の剪定枝を有料化にして、



ネオポリスの中央緑道

年間約310トンもごみとして焼却するという条例は①ごみの減量と②適正処理・処分の基本条例と整合性がない。バイオマス発電を検討することで発電や、地域の温熱利用など循環型経済効果を期待できる。そもそも、廃棄物という言葉は使わず「ごみゼロ」に変えていくべきである。「廃棄物」に税金を投入するのではなく、ごみの資源化による「ごみゼロ」のために税金を使うという市民との合意が必要。

答 建設費、ランニングコストを考えると整備が高い。必要性はあると感じるが今後の課題とする。

問 赤磐の桃とぶどうを 宮内庁に献上できないか

答 自らトップセールスを行っていききたい



佐藤武文議員

のトップセールスを行っていききたい。

合併時の約束は果たされているか

問 合併して良かったとの声はいまだ聞こえてこない。市民主役の事業は残されている。まちづくりは完結したのか。

答 健全財政を維持し、対話をしながら発展ある赤磐市のまちづくりを目指したい。

指定管理の成果は上がっているか

問 何を目的に指定管理したのか。成果は上がっているか。行政の主体性は失われているか。確認は誰が行っているのか。

答 利便性の高いサービスの提供を念頭に、施設の目的にあった利



ふれあい公園

用が図られている。

ふれあい公園の主体性を失う事はないか

問 指定管理により、公共施設である認識が薄れることはないか。

答 教育委員会が主体性を持って取り組む。

地区集会所は重要な避難所ではないか

問 集会所は災害時の安全な避難場所とし、耐震・手すり・スロープなどの設備を見直すべきではないか。

答 地域防災計画を作成していく中で考えていきたい。

12月臨時会のあらまし

議案審議

控訴の提起について

市議の所有地を必要がないのに公費で購入したとして市が告発し、不起訴となった赤磐市の元副市長の妻ら4人が、名誉を著しく傷つけられたとして市に対して計900万円の損害賠償と山陽新聞への謝罪広告掲載を求めている訴訟の判決で、岡山地裁は20日、告発および公表が違法であるという判断から総額600万円の損害賠償を命じた。

多額の損害賠償を求められる判決であり、控訴した上で高等裁判所の判断を仰ぐべきではないかと考え、控訴の提起について議会の議決を求める。

反対討論

控訴することが赤磐市のメリットになると思わない。判決の主文あるいは判決に至る経緯を熟読しても、

12月臨時会を12月27日に開催し、議案1件を審議の結果否決した。

賛成討論

〈2人〉

控訴して勝てる要素はまったく無いと思う。幕引きを早々に行うべきであり控訴に反対する。

赤磐市議会の百条委員会では1年8か月間調査した結論では、今回の土地取引に関する疑惑は悪しきなれあいの結果と言わざるを得ないと断じている。当時の経緯を踏まえれば、控訴しないという選択は無いので賛成する。

公務員は背任に当たると思われる行為を上から迫られた時、告発する義務を負っている。今後、勇気を持って堂々と職員は不正があれば告発をしてもらいたい。そして、議会はいくつかりとそれを管理、監視していくという役割がある。今回、市長は勇気を持って控訴をし、堂々と闘ってもらいたいので賛成する。

第1回 赤磐市議会

議会報告会開催



赤磐市が誕生して、いよいよ10年目を迎えます。当初26人からスタートした市議会も、現在18人の議員で皆様の声を市政に反映していこうと一丸となって議会活動と議会改革を行っているところです。

この度、昨年制定した「議会基本条例」に基づき、議員を3班に編成し、4月15日(火)・17日(木)に5会場で「議会報告会」を開催致します。

ぜひお誘いあわせの上、お近くの会場へご参加ください。

議会報告会の開催日時・会場

4月15日(火) 19:00~20:30

赤坂健康管理センター

2階 研修室
赤磐市町苅田 5 1 4



4月17日(木) 19:00~20:30

吉井支所

2階 第一会議室
赤磐市周匝 136



4月15日(火) 19:00~20:30

中央公民館

2階 視聴覚室
赤磐市下市 337



4月17日(木) 19:00~20:30

くまやまふれあいセンター

1階 第一会議室
赤磐市松本 6 2 1-1



4月15日(火) 19:00~20:30

桜が丘いきいき交流センター

会議室
赤磐市桜が丘東 5-5-391



○主 催：赤磐市議会

○問い合わせ先：議会事務局

TEL.(086)955-2945

赤磐市議会報告会を開催します!

市民の皆さんに議会の活動や定例会の結果などをお知らせし、また、議会運営や議員活動に対するご意見をお聞かせいただくため、このたび初めての「議会報告会」を開催することといたしました。

スケジュールや場所等の詳細についてはこのページの裏面（17ページ）に掲載しておりますので、合わせてご覧ください。

市民の皆さんのご参加をお待ちしております。



吉井支所



赤坂健康管理センター



中央公民館



くまやまふれあいセンター



桜が丘いきいき交流センター

3月定例会 の お知らせ

次回3月定例会は、
2月27日から3月20日
まで22日間の会期で開催予定です。
多くの皆様の傍聴をお待ちしております。

インターネットで本会議配信と 本会議・委員会会議録がご覧になれます



【本会議配信を見る方法】

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「本会議配信」と開いていく。

【本会議会議録を見る方法】

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「本会議会議録」と開いていく。

【委員会会議録を見る方法】

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「委員会会議録」と開いていく。

【インターネットの動画配信・会議録について】

※ インターネットでの本会議録画配信は、平成23年6月 第3回定例会以降のものとなります。

※ インターネットで検索できる会議録は、平成20年3月 第2回定例会以降のものとなります。

※ 委員会会議録は、平成25年2月以降に開催されたものとなります。

【本会議会議録の冊子について】

※ 市内の図書館（中央、赤坂、熊山、吉井）においては今までどおり冊子の会議録を閲覧できます。

編集後記

昨年は、富士山の世界遺産登録や2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定するなど、少し明るい兆しが見えた年でした。
そして、赤磐市も3月に市長・市議会議員選挙があり、新たなスタートをきりました。本年は午年です。「空駆ける天馬の如く」さらなる飛躍する年になって欲しいと願います。
さて、編集委員一同、本会議や委員会などでの審議内容を要約して「読みやすく、わかりやすく」をモットーに取り組んでまいりました。本年も馬力をかけて紙面充実に研さんを重ねてまいります。

議会広報編集特別委員

- 委員長 丸山 明
- 副委員長 澤 健
- 委員 岡崎 達義
- 委員 原田 素代
- 委員 治徳 義明
- 委員 保田 守
- 委員 光成 良充